北海道南幌高等学校だより　校訓「自主　自律」令和元年度［第３号］6月25日発行

南高不落

北海道南幌高等学校
空知郡南幌町元町3丁目2番1号
電話　011-378-2248　　ＦＡＸ　011-378-2629
http://www. nanporo. hokkaido-c. ed. jp

“『言葉』の力”

校長　黒　田　　治

今頃の時期を“仲夏”と呼び、暦の上では夏のまっただ中を指すようですが、南幌町の夏は、朝晩の涼しさからするとまだ先のようです。しかし、校庭の草木の葉は太陽の光を燦々と浴びて緑色を増し、鳥や虫たちも生気が戻ったかのような活動的な季節になりました。生徒たちは制服も正装(冬服)から略装となり、少しずつ緊張感も取れた中で授業を受けるようになり、落ち着いて学校生活を送っております。1年生は「日高青少年自然の家」での2泊3日の寝食を共にした宿泊研修を終えて、いろいろな中学校から集まった無機的な集団から、一人ひとりの個性を互いに尊重し、協力できる有機的なクラスメートの関係を築くことができた素晴らしい経験を積んで戻ってきました。また、2年生は自分の将来の仕事を考えるための就労体験学習として2日間に渡り南幌町内の企業にお世話になって、インターンシップを行いました。その体験の様子や学んだことを保護者や地域の方にも参加していただき、「インターンシップ報告会」を行い、職場ごとに体験の成果や苦労したこと、今後やるべきことなどの発表があり、充実した体験だったことがうかがえたと同時に、社会人になるに当たって、自ら見つけた課題に頑張ろうという意欲を感じる良い発表会でした。３年生はもとより、1，2年生も卒業後の自分の将来のことを考える良い機会になったのではないかと思います。

ところで、最近、新聞やテレビで親が我が子へ虐待をしている悲しいニュースが、立て続けて大きく報道されています。そのためか、先日「改正虐待防止法」が成立し、親による「しつけ」としての体罰禁止が明文化され、来年４月から施行されることとなりました。自分の子どもに虐待を加えることは論外にしても、子どもの「しつけ」に法律が関与しなければならないような親子関係やそんな社会に寂しさを感じるのは私だけでしょうか。

子どもは虐待や暴力による身体や心の傷を負うばかりではなく、心ない「言葉」によっても傷つくこともあります。子どもの心を動かす力は、自らの意思で頑張ろうとする前向きな意欲です。その意欲となる力を奮い立たせる手段は、決して暴力ではなく語りかける人の真剣な「態度」と「言葉」だと信じています。先日のスポーツニュースで日本人初のNBAドラフト1巡目で指名された八村塁選手が話題になっていました。彼の会見の中で中学時代のコーチである恩師の「言葉」を励みに頑張り続けてきた結果だと感謝を述べていました。「言葉」には人に大きな影響を与える力があり、時には人を傷つけ、時には励みになるものです。

『たった一言が人の心を傷つける。たった一言が人の心を温める。』

私たち大人が「言葉」の持つ力をよく理解して、子どもたちの頑張る力に変えられるように「言葉」で勇気づけてサポートしていきたいものです。一歩社会に出ると他人の言葉や評価が気になり、必要以上に不安になったり敏感に反応したりすることがよくありますが、少なくとも御家庭と学校においては、子どもにとって安心して親や友人、先生方に相談したり、夢を語れる場であって欲しいと願っております。

本校では「いじめ」や教師による「体罰」に関する調査を毎年実施しておりますが、「いじめ」や「体罰」が「あった」、「見かけた」ということは1件もありません。今後も学校において、「いじめ」を起こさない環境づくりと「体罰」を起こさない生徒と教師の信頼関係で結ばれたより良い教育環境を一層充実させていきたいと思っておりますので、今後とも本校の教育活動に御理解と御協力のほどよろしくお願いいたします。

併せて、間もなく学校祭が開催されますので、当日だけでも結構ですので参加協力のほど重ねてお願いいたします。

７月の予定

- ７月　１日（月）求人票受付開始
- ２日（火）アルバム写真撮影
- ４日（木）進路用写真撮影（３学年）
- ８日（月）学校祭準備（～１１日）
- １２日（金）学校祭①（前昼祭（校内））
- １３日（土）学校祭②（一般公開）
- １５日（月）海の日
- １６日（火）振替休日
- １８日（木）性に関する講演会　成績相談指導
- ２３日（火）終業式（午後）
- ２４日（水）夏季休業（～８／１８）　進学・就職講習（～２６日）

宿泊研修で１年生の団結力を発揮！

第１学年担任　水野　寛之

６月１２日(水）～１４日（金）まで、国立日高青少年自然の家で宿泊研修を行いました。今回の宿泊研修において、全日程を終えて無事に帰着できたことを有難く思います。生徒は研修プログラムだけではなく、休憩や移動、食事など共同生活を通じたあらゆる場面で、普段とは違った交流が見られました。慣れない手つきでの野外炊飯、体力の限界に挑んだレクレーションなど意思疎通と共同作業の大切さを学んだ経験を生かして、生徒達がどのように成長していくかが楽しみです。

○生徒の声　私は、宿泊研修を通してみんなで協力し合う大切さを学びました。その中でも日高町内を回ってチェックポイントの撮影をするフォトラリー研修が心に残りました。理由は、行ったことがない場所で地図を読み取って道に迷わないように班員で協力できたからです。また、野外炊事では協力して美味しいカレーライスや、焼きそばを作ることができました。そして、準備には少し時間がかかりほかの班の人にも手伝ってもらう場面もありました。また、宿泊部屋の中でＵＮＯをしたり友達と沢山話したりもしました。そして、レクレーションでは鬼ごっこ（ケイドロ）ですぐにつかまったり、簡単に鬼に勝つことはできませんでしたが、皆と協力してレクレーションを盛り上げることを学びました。

この宿泊研修で、クラス内で今まで話したことがない人とも話せるようになったいい機会になりました。また人とかかわりあう大切さや、一人では生きていけないことも学びました。この宿泊研修は、本当に思い出となる研修や体験ができたので良かったです。これからの学校生活に活かしていきたいと思います。（１年　山坂　桃花）

２年生は社会の厳しさを経験 ～インターンシップで得たもの～

進路指導部長　川上　美知代

６月６日（木）～７日（金）の２日間、２年生を対象にインターンシップを行いました。今年度は６事業所に分かれ、就業体験を行いました。「働くとはどんなことなのか」「高校生である自分と仕事をしている人との違いは何なのか」を考えるよい機会となりました。この経験を活かし、今後の学校生活や進路実現に向けて身に付けるマナーや勉強に励んでほしいと思います。

○生徒の声　仕事は臨機応変に対応して実行することや仕事を楽しくしたいなら、それ相応の努力が必要なことを学ばせて頂きました。私は、高校卒業後就職を希望しているので、多くのことを学ばせて頂きとても感謝しています。
この経験を活かして、今後の学校生活を努力していきたいと思います。（２年　内山　健太郎）

投票で選挙の大切さを知る

６月３日（月）に「模擬投票」の出前講座を行いました。事前に、地歴公民科や家庭科の授業で知識を身に付けた後、選挙制度や選挙権について、南幌町選挙管理委員会の講師から、詳しく選挙制度について学びました。

最後に、特設の投票会場をつくり、実際に投票の模擬体験を行いました。体験した生徒はこの学習で『選挙の大切さ』を知り、実際の選挙の折には選挙権を行使してくれることを期待します。

お　知　ら　せ

第46回　南高祭　ぜひ来て下さい！

一般公開は７月１３日（土）

１１：３０～１４：３０

今年の学校祭は、前庭を会場に新鮮野菜の販売や色々なメニューを取りそろえた模擬店、全校生徒によるパフォーマンスやダンス、音楽演奏など昨年度に増しての盛り沢山の内容です。学校祭のテーマ「夏空～飛び立て南高～」をもとに全校生徒一人ひとりが主人公となり、心に残る学校祭となるように準備を進めています。子どもから大人まで楽しめる内容です。多くの方の御来校をお待ちしております。